

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

プライマリ・ケア認定薬剤師研修会

「糖尿病を持つ方へ薬剤師が行うプライマリケア

～地域で生活背景を多職種と連携して低血糖を防止する～」

「褥瘡診療における薬剤師への期待」

(2023年 12月 17日 日曜日【午後】)オンライン開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号P02)を取得いたしております。】

前半は、糖尿病にまつわる診療報酬において、近年、重篤な副作用を回避するために薬剤師への能力に期待が向けられている。その期待に応えるべく薬剤師として何ができるかなどグループワークを通じて考えます。

後半は、褥瘡について、薬剤師が褥瘡治療に参画することで褥瘡の改善率や費用対効果の向上に寄与するといった報告もある。そのような中、薬剤師による処方提案や実技指導などの実践的な介入や、病院薬剤師と保険薬剤師の連携についてなどグループワークを通じて理解を深められる内容となっています。今回も非常に充実した内容になっていますので、ぜひご参加ください。

今回は新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、ZOOMを使ったオンライン研修会とさせていただきます。研修に参加するには、一人一台のインターネットに接続可能なPC(カメラとマイク付き)、またはタブレットが必要となります。スマートフォンでの参加はご遠慮願います。

(細則による必須領域：A, D, E, G)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 薬剤師部会研修担当
2	研修期間	2023年 12月 17日(日) 午後 13:20～16:30
3	研修会場	Zoomを利用したオンラインでの研修会になります。お申し込みで入力したメールアドレスに配信URLを送付いたしますので、開始時間になりましたら、そのURLをクリックして研修会にご参加下さい。研修会終了後、グーグルフォームへのアンケートに当日中にご回答下さい。
4	認定単位	薬剤師:2単位(認定薬剤師単位)、医師:3単位(更新のための単位)
5	受講資格	薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者
6	定員	80名(スモールディスカッション形式※ZOOMでのブレイクアウトルーム使用)
7	受講申込	締め切り:2023年12月1日(金)午後5時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締め切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受け付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	5,500円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は4,000円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。

申し込み先：日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル703A 有限会社あゆみコーポレーション内

TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 jpc@ayumi.jp

プログラム

2023年12月17日(日曜日)

13:00～	受 付
13:20～14:50	<p>「糖尿病を持つ方へ薬剤師が行うプライマリケア ～地域で生活背景を多職種と連携して低血糖を防止する～」</p> <p style="text-align: right;">講師：佐竹 正子</p> <p>(研修内容) 講義・ディスカッション形式 2020年4月の診療報酬改定で、糖尿病薬のインスリンとSU薬処方に対して条件付きで調剤後薬剤管理指導加算30点が新設され、2年後の2022年には60点へ変更されました。この加算の観点は「低血糖予防」です。血糖非依存性薬剤に分類されるSU薬とインスリン製剤は低血糖発症が危惧されるため、併用療法の多い糖尿病薬は全て「自動車運転注意薬」でもあります。従来は低血糖が発症したらブドウ糖摂取の服薬支援が多くでした。しかし薬剤師が副作用である低血糖を発症してからの対処法の支援で良いのでしょうか。調剤後薬剤管理指導加算の目的は、低血糖を未然に防ぎ重症低血糖を回避することを薬剤師に期待した点数とも考えられます。薬物療法支援は薬剤師の必須業務ですが、食事・運動や自動車運転などの生活背景を多角的に把握して、地域の多職種と協働して、糖尿病を持つ人が低血糖を起こさず、かつクリニカルイナナーシャとならないために薬剤師として何が出来るかについてお話をしたいと思います。</p> <p>(細則による必須領域 A, D, E)</p>
14:50～15:00	休憩
15:00～16:30	<p>「褥瘡診療における薬剤師への期待」</p> <p style="text-align: right;">講師：関根 祐介</p> <p>(研修内容) 講義・ディスカッション形式 日本褥瘡学会では、褥瘡・創傷専門薬剤師認定制度が制定され、薬剤師の役割が注目されている。褥瘡診療における薬剤師の役割は、褥瘡の発症予防と褥瘡治療について、全身管理と局所管理を実践することである。発生予防における全身管理では、発生のリスクが高まる薬剤や疾患への対応・栄養管理が、局所管理ではスキンケアなどが挙げられる。褥瘡治療の全身管理では、感染のコントロール・栄養管理などがある。褥瘡治療において局所管理が重要で、褥瘡の病態を把握し、適切な外用薬(薬効・基剤)や創傷被覆材の選択、適正使用としての実技指導や薬剤滞留障害などを実践する。薬剤師の褥瘡治療の参画は、改善率や費用対効果の向上に寄与するとの報告もされている。薬剤師による処方提案や実技指導による実践的な介入に比べ、病院薬剤師・保険薬剤師の連携によりシームレスな褥瘡診療への貢献が求められている。</p> <p>(細則による必須領域 A, D, G)</p>

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

氏名：佐竹 正子 (薬剤師)

所属：星薬科大学薬動学研究室/日本くすりと糖尿病学会副理事長

氏名：関根 祐介 (薬剤師)

所属：東京医科大学病院 薬剤部